



2学期はいろいろな行事が予定されています。クラスで協力しながら取り組む機会が増えます。どんなふうにして仲間とうまくコミュニケーションをとったらいのか悩んでいる人はいませんか。

一緒にいる！



コミュニケーション力を高めるための手法がネットや書籍でいろいろと示されています。中には、理屈は分かるけどそれができるようなら困っていないよ、と言いたくなるものもあります。一番簡単な手法は、ただ一緒にいることです。

同じ時間を過ごすことがポイントです。大人の世界でもその事例はたくさんあります。たばこを吸う人は減りましたが、以前は普段交流のない人たちが喫煙室で一緒に過ごすうちに仲良くなり、いろいろと話し合う仲間になっていることはよくある話でした。その他にも、ジムで一緒に汗を流したり、山登りをしたりと、ただ一緒に過ごすことでお互いに話をする環境ができあがり、知らないうちにお互いが仲間意識を持つようになるのです。

高校生のみなさんならば、ただ一緒にいる場面とはどんな場面を想像しますか。

人は一緒にいるから相手の気持ちが分かります。オンラインでの交流は文字や音声だけのやり取りになり、相手の微妙な気持ちを読み取りにくいと感じたり、自分の気持ちがきちんと相手に伝わっていないと感じたことはありませんか。間違った憶測で相手に恐怖心を覚えたり、嫌悪感をいだくことがあります。また、言い過ぎたとしても、相手の微妙な変化がわからなければ言い過ぎたことに気づけません。これではなかなか相手の世界を理解することができません。



相手の顔が見えるところで、ただ一緒に過ごす。これは単純作業ほど効果的です。やっている作業に生産性はないかもしれませんが、コミュニケーションにおいては着実に距離が近づいているのです。

研修旅行や米工祭など、2学期のいろいろな行事ではクラスの仲間とただ一緒にいて、準備を行ったり行動を共にしてみましょう。行事が終わったときには親近感がアップしているはずですよ。



校長 松川 明義

【行事予定】 6日(水)～8日(金) 2年：研修旅行

6日(水) 1年：環境講演会 K1：現場見学

週末の大会参加予定 山岳部



米工 HP